

＝速報＝ 『パタパタ29号』 コウノトリ湿地ネットニュースレター

※ 10月3日、福井県越前市で初のコウノトリ放鳥が行われました。

同市のコウノトリ見回り隊：野村みゆきさんに速報をお寄せいただきました。

放鳥を終えて

越前市の大空にコウノトリを放すなど、夢には描いておりましたが本当に実現するなんて・・・。10月3日午前10時45分、越前市白山地区において2羽が放鳥されました。この歴史的瞬間に立ち会えた喜びで胸がいっぱいです。

県内外から来られた500名の観衆が見守る中、「げんきくん(♂)」「ゆめちゃん(♀)」は箱から飛び出していきました。最初1羽が観客の頭上を何度も旋回し、続いてもう1羽がサーブスのように旋回するという、まるでシナリオを作ったのかと思わせるばかりの光景。

「きれいな鳥やね～」「大きいな～」いろんな感嘆の声が飛び交っています。どなたも笑顔で嬉しそうな顔。そうです、ずっとこの姿をみていただきたかったのです。絶対に虜になりますから。

放鳥後、すぐにコウノトリ湿地ネットの皆様をお連れして、舞い降りそうな場所へ移動。「ゆめちゃん」はちゃんとそこにいました。もう、すっかり落ち着いていて、白山住民のよう。

そして、今朝(10月4日)早く第一報が。なんと、皆様をお連れした最初の場所(市内曾原町)に「ゆめちゃん」はいました。その後、近くの巣塔付近を飛んで、午前中は「サギソウ王国としてサギソウ米で頑張っておられる安養寺町」と説明した場所です。ずっとくつろいでいました。「パッタを食べていたよ」という情報もあり、何とか食べているようですが、足りているのかどうか？ 本当にこのまま居ついてもらいたいです。

さてさて、もう一方の「げんきくん」はどこにいったのでしょうか。まだ、目撃情報がありません。白山・坂口地区のどこかにいるのか、それとも遠くに行ってしまったのか。どこに行ってもいいから、元気でいてくれることを願っています。コウノトリが『特別な鳥』ではなく、アオサギやダイサギと同じように普通にこの地にいるようになるまで、何らかの形で関わっていただけたらと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

越前市 コウノトリ見回り隊 野村みゆき (2015年10月4日)

写真提供 久下直哉



元気に飛び立ったゆめちゃん



ゆめちゃん、サギとご対面

降りた場所を観察する

